

精神保健学			科目コード	CQ3136
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
4	R or SR(講義)	2年以上	近田 真美子	



※2011年度以前入学者は科目名が「精神保健」から「精神保健学」に変更になりました。

※2017年度より「RorSR」科目となり、スクーリングが開講されています。

科目の概要

■科目の内容

精神的健康を保持・増進することは、心豊かな生活と生きる喜びを享受することの基礎であります。しかしながら、精神障害の発生をはじめ、現在のような複雑な社会では、精神的健康を阻害する多くの要因が存在します。そこで本科目では、各ライフサイクル段階での発達や成熟の在り方と、それに対する現代の社会・文化的影響、今日特に問題となる精神障害や精神的問題についての知識とそれらに対する精神保健対策、さまざまな集団における精神保健活動の実際、精神保健にかかわる施策や制度の問題などを中心に学んでいきます。そのような学習を通して、自己や周囲の人の精神的健康について考え、ひいては、人間全体の精神的健康について考えていくことを目的とします。

■到達目標

- 1) ライフサイクルにおける各ステージの特徴と、各ステージにおいて起こりやすい精神的問題や、代表的な精神障害を述べることができる。
- 2) 今日社会的に問題となる精神的問題（精神障害を含む）と、それらに対する精神保健対策を説明できる。
- 3) 我が国の精神障害者の処遇に関して、法律の変遷を中心に歴史的に説明でき、現在どのような方向へ向かっているのか具体的に解説できる。
- 4) 世界の精神保健、特に WHO による障害概念、世界的な精神障害の動向や今後の課題を説明できる。

■教科書

精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編『精神保健福祉士養成セミナー 2（第6版）精神保健学』へるす出版、2017年（改訂新版でも可）

（最近の教科書変更時期）2017年4月

（スクーリング時の教科書）上記教科書を参考程度に使用します。旧版を所持している場合も受講に支障がないよう資料を配付します。

■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに「専門的知識」「他者への関心と理解」「社会への関心と理解」「クリティカルシンキング力」「アセスメント力」「問題解決力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価20%+スクーリング評価 or 科目修了試験80%

■参考図書

- 1) エリクソン 村瀬孝雄・近藤邦夫訳『ライフサイクル、その完結（増補版）』みすず書房、2001年
- 2) 厚生労働統計協会編『国民衛生の動向2018/2019』厚生労働統計協会、2018年
- 3) 日本公衆衛生協会『我が国の精神保健福祉 平成29年度版—精神保健福祉ハンドブック』日本公衆衛生協会、2018年

スクーリング

■スクーリングで学んでほしいこと

精神保健における課題と対策の理解を通して、精神的健康の促進について考察し、我が国における精神保健の現状と課題を理解することを目的とする。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	精神保健とは何か、歴史	精神保健の定義、今日までの精神保健の歴史
2	精神障害の分類・対策・法制度	精神科医療の現状と社会復帰の課題
3	ライフサイクルと精神保健①	胎児期～青年期の精神保健
4	ライフサイクルと精神保健②	成人期～老年期の精神保健
5	各ステージの精神保健対策①	家庭、学校、職場
6	各ステージの精神保健対策②	認知症対策、薬物、アルコール
7	地域における精神保健	高齢者、自殺、災害等における精神保健活動
8	世界の精神保健・精神医療	先進国と開発途上国における精神医療の格差、精神障害の国際的動向
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

講義内容にそって、配付資料も用いながら、講義を進める。

■スクーリング 評価基準

スクーリング時に話した内容についての理解を問います。

スクーリング試験90%（持込不可）+授業への参加状況10%

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

教科書を通読程度に眺めてください。

精神障害の分類を学んでおいてください。

我が国の精神科医療の現状を概観しておいてください。

レポート学習

■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
1	精神保健とは何か	精神保健の定義、現代社会における精神保健上の課題などの理解。	現代における精神保健の課題における予防、対策など、メンタルヘルスの重要性とその守備範囲を明確にしておく。
2	ライフサイクルと精神保健①乳幼児期・学童期	乳幼児期と学童期の発達過程の理解と、当該時期の精神保健。	エリクソンの発達課題などを参考にし、この時期の特殊性を理解する。またこの時期の精神保健上の問題を把握する。
3	ライフサイクルと精神保健②思春期・青年期	思春期・青年期におけるライフステージの特徴を理解し、精神保健の課題を把握する。	第二次反抗期でもあり、複雑な現代社会では問題が多発する。その現状を把握し、自我同一性の確立の観点などから理解する。
4	ライフサイクルと精神保健③成人期	成人期の特徴把握と、精神保健の課題を理解する。	家庭と職場中心のこの時期の特徴と心性をよく理解し、家族問題、職場の問題による自殺の増加などについての理解を深める。うつ病の好発時期としても重要。
5	ライフサイクルと精神保健④老年期	この時期の3つの老化を理解し、老年期の精神保健について理解する。	高齢社会では特に重要で、老化およびこの時期多発する認知症などの精神障害を含む精神的問題をよく理解する。
6	精神障害対策	明治以降の精神障害者に関する施策の歴史を理解し、今日の処遇に関する経緯を把握する。	明治から今日までの精神障害者に対する施策の経緯から、今日における入院から社会復帰施策の経緯を把握し、今後の精神障害者の社会におけるあり方をよく考えていく。
7	認知症対策	認知症の疾患理解と認知症対策の流れを把握する。	高齢社会において4～5人に1人といわれる認知症発生の予測は今日の精神保健の大きな課題である。疾患の理解とともに、近年までの施策、今後の対策の方向性を考えることが重要である。
8	精神作用物質乱用に関わる防止対策	アルコール、それ以外の覚醒剤や麻薬に代表される依存性薬物の理解と、それへの防止対策の歴史・現状を理解する。	社会における依存性物質による弊害をよく理解し、その特性を見極め、その防止対策や治療上の自助グループの実際と意義について理解する。

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
9	思春期精神保健対策	思春期に多発する問題行動の把握、それらに対する精神保健システムについて理解する。	摂食障害、自傷行為（リストカットなど）が多発し、不登校も長引いている現状を年代と現代社会の相互関係を中心に理解し、それらへの対策のあり方を考えることが大切。
10	緩和ケアと精神保健	ターミナルケアから緩和ケアへ至った経緯とこれらのあるべき歴史、現状について理解を深める。	緩和ケアの方法論の趣旨がターミナルケアに発し、それがもっと広い領域に適用される緩和ケアの概念と実際の理解に努め、今後のケアのあり方を探ることが重要。
11	家庭における精神保健	少子高齢社会の理解と育児支援施策の経緯を把握する。	少子高齢社会の理解は、高齢化率と合計特殊出生率から具体的に理解し、育児支援はエンゼルプラン（1994）から現在までの施策を中心に理解する。
12	学校における精神保健	不登校やいじめへの対応、特別支援教育、児童虐待を中心に理解する。	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの導入、特別支援教育の現状、虐待の種類と対応策を中心に理解する。
13	職場の精神保健	労働安全衛生法の改正の経緯、職場のメンタルヘルスの現状を理解する。	職場のメンタルヘルスへの取り組み（THPや4つのケアなど）を中心に理解を深める。
14	地域精神保健	精神障害者の地域生活への推進。障害概念の変遷の理解。さらに健康作り施策の背景としてあるWHOの動きを理解する。	近年の社会復帰政策の現状の理解。国際障害分類（ICIDH）と国際生活機能分類（ICF）の理解。アルマアタ宣言、オタワ憲章の理解など重要。
15	世界の精神保健	世界における精神障害の問題の把握。他国の精神保健福祉活動の現状の理解。障害調整生命年（DALY）の経緯を理解する。	世界の精神保健における問題としてのうつ病の増加や、その他の精神障害の動向の把握。今後の精神保健問題の予測などを理解するよう努める。

■レポート課題 ※3・4単位めは、それぞれ1,900字以上記述してください。

1 単位め	『客観式レポート集』記載の課題に解答してください（Web 解答可）。
2 単位め	『客観式レポート集』記載の課題に解答してください（Web 解答可）。
3 単位め	わが国の児童虐待の現状を踏まえて、精神保健福祉士として何をすべきか、あなたの熟慮した考えを述べなさい。
4 単位め	わが国における精神障がい者の処遇に関する歴史的経緯を踏まえた上で、精神保健福祉士として何をすべきか、あなたの熟慮した考えを述べなさい。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

（2018年度以前履修登録者） 2019年4月よりレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2018』記載の課題でも2020年9月までは提出できますが、できるだけ新しい課題で提出してください。

■アドバイス

論述式レポート課題に取り組むにあたって考えておいてほしいのは、レポート課題を単にテキストで調べ、それを要求する字数で書けば良いという態度ではいけないということです。私たちの身のまわりで起きているさまざまな精神的な問題に関心を持ち、それらを自分自身の問題として受け止め、それにたいしてどのような対策が行われ、行おうとしているかを全体的に理解することが大切です。そして、自分自身でもその対策を考える積極的な態度が必要です。そのためには、まず教科書を通読して精神保健の概略を理解することです。そうすれば、レポート課題についても、どのような箇所が参考になるのか自ずとわかってきます。また、新聞やテレビで、精神保健にかかわるニュースを読んだり、見たりすることも大切です。新聞の記事のスクラップブックを作るのも理解を深めるのに良いでしょう。その上でレポート課題に取り組んでください。参考図書も最後に挙げておきますが、必読というわけではありません。特に詳しく調べたい人には有用です。レポート課題の評価は、単に教科書に書かれていることを羅列するようなことはせず、教科書をよく理解し、メディアで見たり聞いたりしたことなども参考にし、自ら考えたことを自分の言葉でまとめているかどうか、という点も加えて評価します。また、レポートの最後に引用文献、参考文献（教科書も含む）を必ず記すようにしてください。

さらに、レポート課題にないから重要ではないということではなく、たとえば、認知症の問題（第3章II）など、きわめて重要な今日の問題も含まれています。そのような問題についても理解を深め、高齢者における予防や対策のために役立てるようにしてください。

1 単位め アドバイス

『客観式レポート集』記載の課題に解答してください。「TFU オンデマンド」上で解答することも可能です。

ここでは、人間が生まれてから死ぬまでのライフサイクルの全体を理解し、その各段階の特徴や特殊性を理解してもらうことを目的にしています。教科書や参考書を活用しながら、ライフサイクルと各年代で起こりやすい精神保健上の問題、基本的な知識について確認してください。

2 単位め アドバイス

『客観式レポート集』記載の課題に解答してください。「TFU オンデマンド」上で解答することも可能です。

この課題では、他のレポート課題のほかに、今日の精神保健活動において是非知っておきたい項目についての理解を目指しています。アルコール関連問題対策、薬物乱用防止対策、障害分類や指標などについて確認してください。

3 単位め アドバイス

この課題では、わが国の児童虐待の現状を踏まえながら、精神保健福祉士として何をすべきか自分の考えをまとめ、言語化できることを目的としています。

児童虐待の現状について、既存のデータを活用しながらその背景について考察し、専門職（精神保健福祉士）に必要な使命、役割、責任について述べて下さい。論述式レポートですので、基本的なレポートの形式はもちろん、引用文献や参考文献を活用しながら熟慮した考えが述べられているかを評価します。

4 単位め
アドバイス

精神障害者の処遇の問題は、狭義の精神保健と言われるように、古くから精神保健の最大の課題です。昔から精神障害者はどのように扱われてきたのか、そして現在、精神障害者をどのような方向に持って行こうとしているのかをよく理解することを目的としています。

レポート作成にあたっては、こうした歴史的背景を踏まえた上で、専門職（精神保健福祉士）として何をすべきか、自分の考えをまとめ、言語化してください。3 単位めのレポートと同様、論述式レポートですので、基本的なレポートの形式はもちろん、引用文献や参考文献を活用しながら熟慮した考えが述べられているかを評価します。

科目修了試験

■評価基準

まず課題の理解が大切です。次に課題にたいする解答が指定のテキストの内容理解を基礎としているかどうか大切です。したがって、テキストにある重要な用語や概念を用いて適切に答えているかどうか評価の上で重要になります。